

平成 24 年 4 月 11 日

株主の皆様へ

オリンパス株式会社

当社臨時株主総会議案の提案に至った理由の補足説明について

拝啓 株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、先般、議決権行使助言会社である Institutional Shareholder Services K.K. (以下「ISS」といいます。) が株主の皆様に対し、オリンパス株式会社 (以下「当社」といいます。) の臨時株主総会議案の一部につき反対を推奨している旨の情報を得ました。

当社は ISS の反対推奨理由を慎重に検討いたしました。ISS による当社臨時株主総会議案の反対推奨情報には偏った見解が散見されることから、この度、ISS の反対推奨に強く異議を唱えると共に、当社が各議案を提案するに至った理由に関して、下記の通り補足説明いたします。

株主様、投資家の皆様におかれましては、当社臨時株主総会招集ご通知、ならびに本補足説明を今一度ご一読頂き、最終的なご判断をされますこと、心よりお願い申し上げます。

敬 具

記

ISS が反対推奨を行っている議案は下記議案となります。

第1号議案 訂正後の第143期 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで) 計算書類承認の件

第2号議案 訂正後の第142期 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで) 計算書類承認の件

第3号議案 訂正後の第141期 (平成20年4月1日から平成21年3月31日まで) 計算書類承認の件

第4号議案 訂正後の第140期 (平成19年4月1日から平成20年3月31日まで) 計算書類承認の件

第5号議案 訂正後の第139期 (平成18年4月1日から平成19年3月31日まで) 計算書類承認の件

第6号議案 取締役 11 名選任の件

(候補者番号 1 : 木本泰行、同 2 : 笹宏行、同 3 : 藤塚英明)

第7号議案 監査役 4 名選任の件

(候補者番号 2 : 清水昌)

■第1～5号議案 訂正後の第143期から第139期計算書類承認の件

ISSの反対論旨：

当該議案は訂正後の計算書類の承認を求めるものであるが、当局による調査結果が未了である現時点では不適切であり、反対を推奨する。

当社からの補足説明：

当社は既に独立性の高い第三者委員会の報告を受け、過去に提出した有価証券報告書等の訂正を行い、かつ新たに監査法人のレビューを受け、過去の計算書類を適切に訂正いたしました。

当該議案は既に有価証券報告書等で訂正した内容に則して、会社法上の計算書類を過去に遡って訂正し、株主の皆様のご承認を求めるものであり、ISSはこの経過について一切説明をすることなく、憶測に基づいてのみ反対推奨を行っているものであり、その意見表明につき、強く抗議いたします。

■第6号議案 取締役11名選任の件

下記網掛けの取締役候補者（3名）がISSより、反対推奨となっております。

候補者 番号	候補者 氏名	代表権	当社区分	ISS区分	社外取締役の略歴	ISS推奨
1	木本泰行		社内取締役	社内取締役	—	反対
2	笹宏行	✓	社内取締役	社内取締役	—	反対
3	藤塚英明		社内取締役	社内取締役	—	反対
4	竹内康雄		社内取締役	社内取締役	—	賛成
5	林繁雄		社内取締役	社内取締役	—	賛成
6	後藤卓也		社外取締役	社外取締役	元花王株式会社取締役会長	賛成
7	蛭田史郎		社外取締役	社外取締役	現旭化成株式会社最高顧問	賛成
8	藤田純孝		社外取締役	社外取締役	元伊藤忠商事株式会社取締役副会長	賛成
9	西川元啓		社外取締役	社外取締役	弁護士、元新日本製鐵株式会社常務取締役	賛成
10	今井光		社外取締役	社外取締役	元レコフ株式会社代表取締役社長	賛成
11	藤井清孝		社外取締役	社外取締役	現ベクタープレイス・ジャパン株式会社代表取締役社長	賛成

(1) ISSの反対論旨（候補者番号1：木本泰行、候補者番号3：藤塚英明）：

メインバンクの元役員を取締役として選任することに対して、株主利益よりも出身銀行の利益を優先する懸念があることから反対を推奨する。

当社からの補足説明：

完全に独立した社外取締役が過半数以上を占める取締役会構成

当社はコーポレートガバナンスの強化を図るべく、本臨時株主総会における取締役候補者 11 名のうち、過半数の 6 名を当社から完全に独立した社外取締役に構成することを議案としてお諮りしております。ISS が反対推奨する木本泰行氏、藤塚英明氏は社内取締役候補者であり、社外取締役候補者には、銀行関係者は一切含まれておりません

従って、資本増強や業務提携等の重大な意思決定は、銀行関係者等の利害関係者から完全な独立した過半数の社外取締役が反対すれば、取締役会で決議されることはないのであり、新体制のもと、当社のコーポレートガバナンスは十分に機能しうるものと考えられます。

また、社内取締役候補者である木本泰行氏及び藤塚英明氏は、当社取締役として選任されれば、その職務執行に当たり当社に対して善管注意義務及び忠実義務を負うこととなり、出身銀行の利益を優先して、当社と利益相反する職務遂行をすれば、直ちに取締役としての責任を問われる立場にあることから、同氏らが、かかる行為に及ぶ可能性は極めて少ないと思料します。

最後に、改めて強調しますが木本氏、藤塚氏は社内取締役候補者であり、社外取締役候補者ではございません。

(2) ISS の反対論旨（候補者番号 2：笹宏行）：

- ・当該候補者の業務経験では、投資家の信頼を回復するためにオリンパス社が直面する、リストラから資金調達問題におよぶ経営課題に対処することは難しいこと
 - ・これまで新経営陣から経営戦略が発表されていないため、今臨時株主総会で選任された場合、今後 14 カ月間も再任されることのない社長に就任することから、当該候補者の資質やリーダーシップを判断することが、株主にとって困難であること
- 以上により、反対を推奨する。

当社からの補足説明：

笹宏行氏は当社のコア事業である医療部門で 30 年のキャリアを有し、近年はこの中枢部門において経営に深く従事してきました。当社ホームページや株主様への送付資料「新経営体制のご案内」の 3 ページ目「代表取締役社長候補者のご挨拶」内においても、新社長としての経営上の検討課題と経営方針等の抱負を述べており、経営陣の先頭に立って株主との対話を積極的に進めております。

ISS の反対推奨は、笹氏のこれまでの長年にわたる業務経験、および取締役候補者として指名後の株主への一連の活動について一切言及することなく、抽象的に笹氏の経験能力を疑問視するものであり、具体的な根拠に乏しいといわざるを得ません。また、今後の経営戦略等についての具体的開示の不備についての指摘も、取締役候補者に過ぎない現段階に

において、笹氏にその説明義務の範囲を逸脱した内容を求めるものであり、反対推奨理由としては合理性を欠いております。

今後の経営戦略は、あくまで臨時株主総会によって選任された新経営陣の意思決定によって初めて確定し、発表される予定のものです。繰り返しになりますが、当社が議案としてお諮りする取締役候補者によって構成される取締役会は、完全に独立した社外取締役が過半数を占める構成となっております。笹氏をはじめとして当社の執行を担う主要な役員は、これら過半数の社外取締役による監督を受けながら適正な業務執行を行い、かつ引き続き株主との対話を鋭意進めることによって、当社の企業価値、すなわち株主の共同利益の最大化に向けた適切な経営判断を期待出来るものと確信しています。

■第7号議案 監査役4名選任の件

下記網掛けの監査役候補者（1名）がISSより、反対推奨となっております。

候補者 番号	候補者 氏名	当社区分	ISS 区分	社外監査役の略歴	ISS 推奨
1	斎藤隆	監査役	監査役	—	賛成
2	清水昌	監査役	監査役	—	反対
3	名古屋信夫	社外監査役	社外監査役	現なごや公認会計士事務所長	賛成
4	名取勝也	社外監査役	社外監査役	現名取法律事務所長	賛成

ISS の反対論旨：

オリンパスの監視・監督に失敗した最大株主の出身者であり、経営陣の監督機能が求められる監査役としての清水氏の資質を疑問視し、反対を推奨する。

当社からの補足説明：

生命保険会社出身の清水氏は独立した社外監査役としてではなく、常勤の監査役の一人として当社の監査に従事して頂きます。社外からも常勤監査役を迎えることで社内の監査体制の強化を図るものです。同氏には常勤監査役として厳格な監査を実施して頂きます。

なお、社外監査役候補者は別途、候補者番号3：名古屋信夫氏、同4：名取勝也氏の両名となりますが、各候補者と当社の間には、いずれも特別の利害関係はなく、当該議案が承認されると独立した社外監査役2名、監査役2名、4名の監査役会構成となります。

株主様、機関投資家の皆様におかれましては、上記各議案に関する補足説明につき、ご理解いただき、各議案への議決権行使をいただけますよう、宜しくお願い申し上げます。

以上

本件に関するお問い合わせ先
オリンパス株式会社 広報・IR 室
TEL : 03-3340-2179